

## 第2回ワークショップ「市役所や議会に望むこと～あなたならどうしますか」Aグループ発表

市長・職員のイメージ	議会のイメージ	市民にできること
<p><b>市長</b> (理想) → <b>責任力と決断力のあるリーダー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの顔である人物 ・市政の最高責任者</li> <li>・決断力と実行力が必要 ・将来的な市の方向性を決定する役職</li> <li>・小樽の責任者</li> </ul> <p>(現実)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のボス的な存在(自由な意見が言いづらい) ・辣腕(公共事業費の削減等)</li> <li>・市民の目線にたっていない ・まちのリーダー ・なじみが薄い ・発信力がない</li> <li>・中央への依存心が強い(交付金とか)</li> <li>・観光について一生懸命</li> <li>・気さく</li> </ul>	<p><b>議会</b></p> <p>&lt;構成&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口に対して人数が多い ・成田さん</li> <li>・なんやかんやで若い人が少なそう</li> <li>・年齢他在任期間が長い方が多い</li> </ul> <p>&lt;資質&gt;</p> <p>(マイナス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政策スタッフがない ・何をやっているのかよくわからない</li> <li>・何について会議しているのかよくわからない</li> <li>・議員一人一人がかかっている議案がわからない</li> <li>・議員の資質に疑問な人がいる(ふさわしい人が選挙で選ばれるとは限らない)</li> <li>・ねてる人がいる ・市民の声をとどけているかわからない</li> <li>・専門性に疑問 ・政策立案能力がほとんどない</li> </ul> <p>(プラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の代表との意識が高い → <b>意識</b></li> </ul> <p>&lt;議会のイメージ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議員間の議論がない</li> <li>・議員図書室に資料がほとんどない。</li> </ul> <p>&lt;待遇&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬が高い</li> <li>・政務調査費が十分ではない</li> </ul>	<p>&lt;市政への参加&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の将来にプラスになる活動をする人を選ぶ、まず選挙に行く</li> <li>・市民の思いを伝える(議会、行政との歩み寄り)</li> <li>・政治に参加する</li> <li>・市政への参加</li> <li>・執行機関(行政)議会の監視</li> </ul> <p>&lt;住民、ボランティア&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の年齢構成に見合った民間サービス</li> <li>・行政サポーター</li> <li>・行政に変わるボランティア</li> <li>・子供たちを守るボランティア</li> <li>・観光案内のボランティア</li> </ul> <p>&lt;郷土愛&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の街にもっと関心を持つ</li> <li>・自分の街を外に発信</li> <li>・若い人の活動をバックアップする意識(経済の活性)</li> <li>・地域経済のため、地元で消費活動をする</li> <li>・市にお金が落ちるような消費活動(地元の店で買う)</li> </ul>
<p><b>職員</b> (役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の快適な生活のために働くべき職業</li> <li>・まちづくりの中心的存在</li> <li>・行政の担い手</li> </ul> <p>(現状)</p> <p>&lt;人的的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が多い ・いっぱいいる ・若手が少ない(採用控え)</li> </ul> <p>&lt;マイナス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時々事務的で冷たい態度をされる ・笑顔が少ない ・肩身が狭い</li> <li>・新しいことになかなか取り組まない(前例主義) ・専門性の高さに疑問</li> </ul> <p>&lt;プラス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の声を聞いていると思う ・勤勉</li> <li>・どうすれば小樽が良くなるか考えている</li> </ul>	<p><b>議会</b></p> <p>&lt;資質&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア精神を持つ</li> </ul> <p>&lt;姿勢&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に用意した答弁ではなく、リアルな議論を交わすところを見たい</li> <li>・議会内外で市民と広く議論する機会をつくる</li> <li>・もっと意見を市民にむけて発信してほしい</li> <li>・市民の様々な意見に耳を傾ける</li> <li>・選挙の時とか自分の思いをわかりやすく伝えてほしい。車で言うだけではなく、顔がもっと見える</li> </ul> <p>&lt;組織&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の実情に見合った人数と報酬</li> <li>・将来を見据えて実現可能な政策を、専門性を持つ</li> <li>・議会個人による意思決定機会を増やす(党議拘束をゆるめる)</li> <li>・要望を扱うだけの現状から専門性を伴い審議する議会へ</li> </ul>	<p>&lt;郷土愛&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の街にもっと関心を持つ</li> <li>・自分の街を外に発信</li> <li>・若い人の活動をバックアップする意識(経済の活性)</li> <li>・地域経済のため、地元で消費活動をする</li> <li>・市にお金が落ちるような消費活動(地元の店で買う)</li> </ul>
<p><b>市長・職員の役割</b></p> <p>→ <b>強いリーダーシップ</b></p> <p><b>市長</b></p> <p>&lt;資質&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいことに果敢に取り組んでほしい ・強いリーダーシップ</li> <li>・先見性を持っている ・カラーを出してぶれないリーダーシップで引っ張ってほしい</li> </ul> <p>&lt;姿勢&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップセールスをしてほしい ・市民に対して顔が見える</li> <li>・市民の市政への積極的な参加、啓発を促しつつ専門性に基づいた情報発信</li> <li>・小樽をどうしたいのか(ビジョンを)若者にも伝えてほしい</li> </ul> <p>&lt;行動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員の適材適所をすすめる ・明確でわかりやすい説明</li> <li>・必要性の高い、効果が望める施策の実行</li> <li>・病院建設にみられるように言動にぶれないように</li> <li>・観光の開発に積極的に</li> <li>・新産業育成(誘致)に積極的に取り組んでほしい</li> </ul>	<p><b>議会</b></p> <p>&lt;資質&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア精神を持つ</li> </ul> <p>&lt;姿勢&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に用意した答弁ではなく、リアルな議論を交わすところを見たい</li> <li>・議会内外で市民と広く議論する機会をつくる</li> <li>・もっと意見を市民にむけて発信してほしい</li> <li>・市民の様々な意見に耳を傾ける</li> <li>・選挙の時とか自分の思いをわかりやすく伝えてほしい。車で言うだけではなく、顔がもっと見える</li> </ul> <p>&lt;組織&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の実情に見合った人数と報酬</li> <li>・将来を見据えて実現可能な政策を、専門性を持つ</li> <li>・議会個人による意思決定機会を増やす(党議拘束をゆるめる)</li> <li>・要望を扱うだけの現状から専門性を伴い審議する議会へ</li> </ul>	<p><b>市民にできることについての要望</b></p> <p>&lt;行政&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合まちづくり会社の設立と各企業・個人との連携(事業のリスクをとる)行政より前面に</li> <li>・移動式投票車両を用意</li> <li>・行政サポーター制度の創設</li> <li>・高学歴(大学卒以上)の雇用・活躍の場の創出</li> </ul> <p>&lt;教育との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目立つところでオープン議会</li> </ul>
<p><b>職員</b></p> <p>&lt;資質&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を上げてほしい ・職員倫理を高める努力を</li> </ul> <p>&lt;姿勢&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小樽に誇りをもって仕事してほしい(観光都市ならば)</li> <li>・より親しみやすく ・市民とより強調していく</li> </ul> <p>&lt;待遇&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員の費用対効果がMAXになる人材配置、仕事内容を希望、適材適所</li> <li>・研修機会の充実</li> <li>・地域の実情にあった人数や給与体系</li> <li>・クリエイティブな人を採用してほしい</li> </ul>	<p>&lt;資質&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア精神を持つ</li> </ul> <p>&lt;姿勢&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に用意した答弁ではなく、リアルな議論を交わすところを見たい</li> <li>・議会内外で市民と広く議論する機会をつくる</li> <li>・もっと意見を市民にむけて発信してほしい</li> <li>・市民の様々な意見に耳を傾ける</li> <li>・選挙の時とか自分の思いをわかりやすく伝えてほしい。車で言うだけではなく、顔がもっと見える</li> </ul> <p>&lt;組織&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の実情に見合った人数と報酬</li> <li>・将来を見据えて実現可能な政策を、専門性を持つ</li> <li>・議会個人による意思決定機会を増やす(党議拘束をゆるめる)</li> <li>・要望を扱うだけの現状から専門性を伴い審議する議会へ</li> </ul>	<p>&lt;行政&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合まちづくり会社の設立と各企業・個人との連携(事業のリスクをとる)行政より前面に</li> <li>・移動式投票車両を用意</li> <li>・行政サポーター制度の創設</li> <li>・高学歴(大学卒以上)の雇用・活躍の場の創出</li> </ul> <p>&lt;教育との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目立つところでオープン議会</li> </ul>